

## 活動助成金8万8400円本部から

◆今期分の活動助成金が交付されました。6/E現在の在籍数221名分です。年会費1500円のうち400円が区会にまとめて割り戻された勘定です。

◆これにより今期の活動資金は、前期の繰越しと併せて28万0532円となりました。この中から行事（別項参照）、海岸清掃活動交通費補助、区会だより発行などに約9万円を充て、来期へ19万円を回します。

## 菅田忠志氏に功労会員賞

◆5/15〈わ〉第11回定期総会で当区会の菅田忠志氏（生11・友が丘）が26年度〈わ〉功労会員表彰を受けました。  
【ざらり〜わ67号 p8参照】



◆氏は、当区会にとっては毎月お世話になっているKSC友が丘クラブ健康ウォーキングのリーダーとしてお馴染みですが、〈わ〉では環境部長および理事を歴任し、その間《花実の森》などいくつものプロジェクトを立ち上げ、今も先頭に立って活動しておられます。

◆今回の表彰理由は、KSC同窓会の枠にとらわれず広く地域コミュニティのために尽くされていること、活動定着に努めていることが評価されたものです。

## 在校生に区会活動をPR

◆6/24、地域交流学習のプログラムに沿って須磨区在住の在校生約150人へ当区会のしくみや活動内容を30分で説明しました。このようなPRの機会を与えられたのは初めてで、歓迎すべきことです。

◆在校生間のつながりはクラスや同じクラブどうしが主で、それに比べると居住地域を同じくする者どうしでは希薄のようです。今回のプログラムはこのことに対するカレッジ当局の問題意識の現れと思われる。

◆地域交流グループ活動が卒業後の〈わ〉区会活動につながってくれることを期待しますが、それをただ待つだけでなく区会側からアプローチすることも必要です。今回はそのきっかけになり得たと考えます。

◆説明には主にスライドを用い、区会の活動には地域貢献という《外向き》と、会員相互のつながりという《内向き》があること、両方の相乗効果が現れるよう努力していることなどを図で説明しました。

◆また須磨区会の活性度を他の8区会と比べると在籍会員数の割に活動日数が少なく《外向き度》では6番目にとどまること、連絡網や行事の内容・頻度から判断し《内向き度》は中位であることを説明。まだ多くの課題があり、卒業後は〈わ〉に入会し須磨区会に力を貸してほしいと期待を述べて終わりました。

◆当日のスライドと配布資料を差し上げます。ご希望の方はお知らせください。

## 2014ウォークラリー大会の準備にとりかかっています

◆昨年に初めて開催したウォークラリー大会では大方の参加者から「楽しかった」「こんないい所があるとは知らなかった」「適度な運動になった」「またやりたい」などの感想をいただきました。

◆このイベントは次のコンセプトから生まれました。

- 1 須磨区固有の自然環境を生かせる
- 2 定例的に開催することができる
- 3 費用があまりかからずできる
- 4 参加者の心身に健康効果を与えられる
- 5 参加者どうしのつながりが醸成できる

◆参加者の評価はこれらのコンセプトを立証してくれたわけです。今年も前回におとす喜んでいただけるような大会を目指します。

◆準備チームを立ち上げました。メンバーは次の7人で、昨年と同様にすべて入会1、2年目の方々です。

戸田貞雄（音17・神の谷）  
水上桂子（音17・多井畑）  
中西次郎（美17・神の谷）  
山田喜義（福18・竜が台）  
吉田恵子（国18・北落合）  
杉原ふき子（生18・竜が台）  
畑瀬忠雄（園18・横尾）

◆戸田、水上の二人は昨年の出場者。戸田氏は1位チームの一人でした。二人には第1回の経験を生かしてくれるよう期待しています。

10月26日（日） 9～13時

集合場所 多井畑厄神 駐車場

ラリーのコース 奥須磨公園全域

### ウォークラリーとは

2～4人でチームを組み、定められたコースを歩きながら、途中で出される課題に答え、もとにもどるまでの時間がどれだけ標準時間に近いかを競うゲームです。ただし、コースも標準時間も参加者には前もって知らされません。コースは、コマ図という部分的な地図をつなぎ合わせて見出すのです。体力やスピードを競うのでもありません。観察力と判断力が求められます。順位は、標準時間との差の少なさと、課題の回答の正しさとの総合点で決まります。

ウォークラリー大会の詳細な内容と参加申込み要領は9月初旬に改めてお知らせします

紙面についてのご意見やお問合せは下記へどうぞ

〒654-0103 白川台4-23-33

でんわ/FAX 793-7219

メール hossono-kq@k2.dion.ne.jp

裏面 《地域ブロック別在籍会員構成表》